



大学院

Aoyama Gakuin Graduate School

社会の多様なニーズに柔軟に応える 21世紀の大学院教育を先導しています。

青山学院大学に設置されている学部に対応した大学院の研究科を設置。いずれの研究科も、それぞれの専門分野における確かな研究実績と社会の要請に応えるフレキシブルな研究体制により高い評価を得ています。

社会のニーズに柔軟に応える 大学院教育を志向

「知識基盤型社会」といわれる21世紀。情報や技術などを含む新しい“知識”が、ビジネス、政治、文化など、社会のあらゆる領域における活動の基盤となり、より高度な専門分野の知識とそれを活用して現実の諸問題を解決に導く応用力を持った人材がこれまで以上に求められるようになりました。このような社会状況を背景に、今、大学院教育の重要性が高まりつつあります。

青山学院大学の大学院では、社会科学系を中心に改革を進めるとともに2008年4月に設置された社会情報学部にて社会情報学研究科を設置しました。

今後は、これまでの教育・研究の伝統と実績をベースに、より高度な、より社会に開かれた大学院づくりに向けたさらなる改革に取り組んでいきます。

文学研究科

英米文学専攻／フランス文学・語学専攻
日本文学・日本語専攻
史学専攻（いずれも博士前期・後期課程）

人文科学の

幅広い領域を網羅する4専攻

人類の知的・文化的遺産を踏まえて、高度で専門的な学術研究を進め、人間と社会に対する深い洞察力と専門研究能力・専門職能力を備えた人材の育成を目指し、人文科学の幅広い領域を網羅する4専攻を設置し、いずれの専攻も、徹底した少人数教育を実施。各分野の専任教員によるきめ細かい研究指導によって、数多くの研究者を輩出しています。

教育人間科学研究科

教育学専攻／心理学専攻（いずれも博士課程・後期課程）

教育学・心理学の理論的省察にもとづく

高度な専門家の育成を目指して

教育人間科学研究科は、急激に変化しつつある今日の社会状況の中で生じている人間と社会に関わる諸問題に関して、教育学と心理学の理論的実践的研究成果をふまえ、学問的叡智を活かして社会に貢献できる高度な専門家の育成を目指しています。本研究科は、専門的知見を有する教員の懇切な

研究指導によって、高度な理論と実践力を身につけた人材を育成し社会に送り出しています。教育学専攻では人間形成学領域、比較教育文化・発達社会学領域、学校教育学領域、臨床教育学領域、メディア・コミュニケーション学領域という5領域にわたって、大学院生の研究テーマに対応し徹底した少人数教育を実践しています。教育学専攻では本専攻課程の科目を所定の単位以上修得して専修免許状に上進することができます。心理学専攻では「心理学コース」と「臨床心理学コース」を設置し、基礎理論研究ならびに実社会に密着した応用分野の研究に専門的教員スタッフが大学院生個々の指導に当たっています。また、「臨床心理学コース」は、財団法人日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定の適用を受けています。

経済学研究科

経済学専攻（博士前期・後期課程）
公共・地域マネジメント専攻（博士前期・後期課程）

多様なテーマを網羅する高度専門少人数教育 体系的な社会デザイン実践力教育

経済学専攻では理論・政策・歴史のいずれの分野にも実績ある指導者を配し、急速に発展する科学としての経済理論や複雑化・多様化する社会問題に関心を持つ学生のあらゆる研究テーマに徹底した少人数教育で対応できる体制を整え、それによって、学生は社会のニーズにあった高度かつ専門的学識を確実に身につけられるようになっています。また、2008年度に設置された公共・地域マネジメント専攻は不断に変容する現代社会の諸問題に伝統的経済学を越えた視点を導入し、地域コミュニティからのアプローチで新たな経済社会の制度・政策デザインを提案できる人材の育成を目指しています。また体系的集団指導体制を特徴とし、多くの教員の専門的知見を個々の学生に伝えるプログラムによって高度な実践力が身につけられるカリキュラムを用意しています。

法学研究科

私法専攻／公法専攻（いずれも博士前期・後期課程）
ビジネス法務専攻（修士課程・博士後期課程）

健全な法のスペシャリスト育成を

目指して

優れた教育研究実績を有する私法専攻と公法専攻に加え、2005年度には、ビジネス法

務専攻を開設。ビジネス法務専攻は、人事労務法務プログラム、知財法務プログラム、税法務プログラム、金融法務プログラムの4つのプログラムから成り、社会人を対象とし、講義は主に夜間に開講され、大学所属教員と実務経験豊富な弁護士や会計士、税理士、弁理士などにより実務と密接な内容を高いレベルで行っています。社会の要請をいち早く促え、健全かつ高度なリーガル・マインドを身につけた法のスペシャリストを社会に送り出す使命を実践しています。

経営学研究科

経営学専攻（博士前期・後期課程）

「21世紀の経営構想力」を育む 開放的な知的空間の提供を目指す

「経営学」は変容し続ける企業経営を解明するツールであり、常に組織の実践活動とともに発展してきました。経営学研究科は、こうした「学」と「現実」の交差を促し、新たな知識、能力が生まれる場でありたいと考え、21世紀の経営構想力を育む開放的な知的空間の提供を目指しています。博士前期課程のカリキュラムは、「経営学」「会計学」「IMC統合マーケティング部門」の3部門体制で構成されています。博士前期課程では、昼夜開講制を導入するとともに、社会人入試制度を設け、経営学研究と現実の企業活動との関係を探求しようとする社会人を広く受け入れています。

国際政治経済学研究科

国際政治学専攻／国際経済学専攻
国際コミュニケーション専攻
（いずれも修士課程・博士後期課程）

高度な専門領域とスキルを 体系的かつ総合的に学ぶ

国際政治、国際経済、国際コミュニケーションの各分野における学識を深め、グローバルに活躍できる研究者・教員の育成、および世界を舞台に活躍できるビジネスパーソン、官公庁職員、NGOスタッフなどの育成を目指しています。充実した教授陣による研究指導に加え、国連大学やFASID（国際開発高等教育機構）での講義やNGOのメンバーを講師に迎えた講義など、現場主義にたつ実践感覚のある教育研究を展開していることも大きな特色。本研究科教授陣が中心となった国際共同研究も活発に行われています。なお、昼

学内飛び級制度

・経営学研究科・国際政治経済学研究科・国際マネジメント研究科国際マネジメントサイエンス専攻
学部3年次終了後、一定の条件を満たせば大学院に入学できる制度です。大学入学後5年間で修士の学位の取得が可能です。

大学院科目特別履修制度

・文学研究科英米文学、フランス文学・語学、史学各専攻
・総合文化政策学研究科（2011年度より実施予定）
・経済学研究科・法学研究科・経営学研究科・国際政治経済学研究科
大学院進学を目指す学部4年生が、大学院で開講されている授業科目を履修できる制度です。



昼夜開講制

・文学研究科英米文学専攻（博士前期課程）・教育人間科学研究科（博士前期課程）・経営学研究科（博士前期課程）
・国際政治経済学研究科（修士課程・博士後期課程）・総合文化政策学研究科文化創造マネジメント専攻（修士課程）
・国際マネジメント研究科国際マネジメント専攻（専門職学位）
・会計プロフェッション研究科プロフェッショナル会計学専攻（博士後期課程）
「開かれた大学院」を目指して、社会で活躍する方々が働きながら学べる昼夜開講制を導入しています。なお、法学研究科ビジネス法務専攻・社会情報学研究科社会情報学専攻ヒューマンインノベーションコースでは、平日夜間および土曜日の開講制を導入しています。

夜開講制や、実務経験を有する方を対象にした「アカデミック・リターン入試」を導入しており、高度な学問研究を目指す社会人を積極的に受け入れています。

総合文化政策学研究科

文化創造マネジメント専攻（修士課程）
総合文化政策学専攻（一貫制博士課程）

創造的知の、次世代研究者、 指導者の養成を目指す

「総合文化政策学専攻」は、総合文化政策学の体系化を通して文化創造の次世代の研究者、高度な文化リーダーの養成を目的としており、「文化創造マネジメント専攻」は、社会人（有職者）を中心に、現場の経験をさらに学問的に深め、文化の領域における高度な実践的知識の習得を通して企業や社会のクリエイティブ・リーダーとなる職業人を養成します。「総合文化政策学専攻」は、21世紀の新しい学問分野である総合文化政策学を研究対象とする研究大学院であり、5年一貫制博士課程として運営されています。修士の学位取得者は、3年次編入も可能です。「文化創造マネジメント専攻」は、コンテンツ創造に欠かせない広範かつ高度な専門能力とともに、文化マネジメントに必要とされる政策立案能力を教授し、標準修業年限2年に加えて3年制コースも用意されています。

理工学研究科

理工学専攻（博士前期・後期課程）

1専攻・8コースで

最先端の研究領域にチャレンジ

1専攻（理工学専攻）・8コース制により、最先端領域の研究や境界領域に重点を置いた分野横断的・複合的な研究体制を強化し、既成の学問体系にとらわれず、現代の科学技術に期待される複雑で多様な諸課題に対応できるフレキシブルな研究体制を構築して

います。社会と科学技術の関わりに注目しつつ、環境・エネルギー問題など、学際的なアプローチも試みていきます。コースとして、学科の専攻を受け継ぐ「化学」「電気電子工学」「機械創造」「マネジメントテクノロジー」「知能情報」の5コースのほか、物理、化学、電気・電子工学、数学の各分野に対する学際的な研究を行う「基礎科学」「生命科学」「機能物質創成」の3コースを設置しています。また教育プログラムとして、高度な研究と応用を担う人材の育成を目的とする「専門フロンティアプログラム」、科学・技術を広い視野に立って正しく評価し、社会に発信できる人材の育成を目的とする「複合フロンティアプログラム」を設置しています。

社会情報学研究科

社会情報学専攻（博士前期・後期課程）

文系、理系の枠を超えた

高度な見識を有する人材養成を目指す

社会情報学分野における卓越した能力を有し、先見性・創造性・独創性に富んだ高度な人材養成を目的とします。具体的には、理学、情報科学、経済学、経営学、教育学といった多様な視点を持ち、自らが総合的・包括的に問題解決を図れる能力を身につけます。特に博士前期課程では、2コースを設置し、それぞれに独自性の高い学問を展開しています。

「社会情報学コース」では、「社会科学系からの視点」「人間・社会・情報融合系からの視点」「情報科学系からの視点」といった多角的な観点から現代の問題を発見し、それらを自らの力で解決できる高度な人材を養成することを目指します。「ヒューマンインノベーションコース」では、教育機関、公益・非営利団体、企業法人などで既に職を持つ“職業人”の受け入れも想定し、自分のフィールドや活動を見直したり、再構築したりなど、組織の変革ができる人材の養成を目指します。

<http://www.aoyama.ac.jp/>

